

会員の活動

2005. 4. 1 ~ 2006. 3. 31

【講演・シンポジウム】

1. 安達栄子(長岡)：地震における情報提供活動：新潟県中越地震における病院図書室活動報告. 日赤図書室協議会研修会(東京) 2005.8.5
2. 飯田育子(浜松)：図書室サービスと著作権. 静岡県医療機関図書室連絡会研修会(静岡) 2005.11.10

【学会発表】

1. 野口通世(徳島)、小野ますみ：入院患者さまに図書室利用サービスを開始して. 第22回医学情報サービス研究大会(愛知) 2005.7.5 (ポスター)
2. 天野いづみ(静岡)、井指喜代江、望月雅子：新臨床研修制度における病院図書室の支援. 第22回医学情報サービス研究大会(愛知) 2005.7.5 (口演)
3. 中川杏子(大阪)：オンラインジャーナルの導入について. 日赤図書室協議会研修会(東京) 2005.8.4 (事例報告)
4. 天野いづみ(静岡)：赤十字病院図書室の広報活動. 日赤図書室協議会研修会(東京) 2005.8.4 (事例報告)
5. 鳥渕早希子(和歌山)：検索指導の実際. 医学中央雑誌. 日赤図書室協議会研修会(東京) 2005.8.4 (事例報告)
6. 原田茂(さいたま)、天野いづみ(静岡)、飯田育子(浜松)：日赤図書室ネットワークにおけるホームページ活用. 第41回日本赤十字社医学会総会(島根) 2005.10.6 (口演)
7. 天野いづみ(静岡)、木下久美子(高山)、鳥渕早希子(和歌山)、矢口和子(葛飾)：

新臨床研修制度における図書室の役割. 第41回日本赤十字社医学会総会(島根) 2005.10.6 (口演)

【著書・論文】

1. 飯田育子(浜松)：[著作権と病院図書館] 著作権と病院図書館. 病院図書館 2005;24(4)：158-162.
2. 木下久美子(高山)：[図書館プロジェクトX] 当院図書館における課題. 病院図書館 2005;24(4)：155-157.
3. 天野いづみ(静岡)：[図書館の発信情報は効果的に伝わっているか?] 病院図書室の広報活動—アンケート調査を実施して—. 情報の科学と技術 2005;55(7)：299-305.
4. 安東正子(姫路)：病院図書室の役割 当院図書室の変遷から. 病院図書館 2005;25(1-2)：28-31.
5. 安達栄子(長岡)：地震における情報提供 新潟県中越地震における病院図書室活動報告. 日赤図書館雑誌 2005;12(1)：38-42.
6. 天野いづみ(静岡)、望月雅子：新臨床研修制度における病院図書室の役割 図書室担当者と研修医へのアンケート調査からの分析. 静岡赤十字病院研究報 2005;25(1)：6-11.

【コラム、その他】

1. 飯田育子(浜松)：第72回浜松市病院図書室勉強会報告. ぶっくとらっく 2005;14(1-2)：3.
2. 飯田育子(浜松)：浜松市病院図書室勉強会報告. ぶっくとらっく 2005;14(3-4)：12-13.
3. 飯田育子(浜松)：患者図書室—私の思い—. 全国患者図書サービス連絡会会報 2005;12(3)：71-77.

NPO 法人日本医学図書館協会認定資格

ヘルスサイエンス情報専門情報員

会員申請結果 2004.2~2006.1

第1回 (2004年2月受付)

上級

天野 いづみ (静岡赤十字病院)

飯田 育子 (浜松赤十字病院)

初級

渡辺 幸代 (日本赤十字社医療センター)

第2回 (2004年7月受付)

中級

前澤 好広 (長野赤十字病院)

第3回 (2005年1月受付)

中級

野口 通世 (徳島赤十字病院)

第4回 (2005年7月受付)

初級

的場 幸子 (伊達赤十字病院)

第5回 (2006年1月受付)

中級

塚越 貴子 (前橋赤十字病院)

「ヘルスサイエンス情報専門員 (JHIP)」は、NPO 法人日本医学図書館協会の認定資格です。学会発表、論文、研修会参加等、ポイントによる申請で、5年ごとの更新が必要です。この資格取得により医療情報の専門的知識・技能、管理・調整能力等、各自の資質向上を目指します。日本医学図書館協会会員でなくとも取得可能です。